

製品名: MMP2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81783**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	73.8kDa

抗原情報

遺伝子名	MMP2
別名	CLG4; MONA; CLG4A; MMP-2; TBE-1; MMP-II
遺伝子 ID	4313.0
SwissProt ID	P08253
免疫原	大腸菌で発現したヒト MMP2 (AA: 9-140) の精製された組み換え断片。

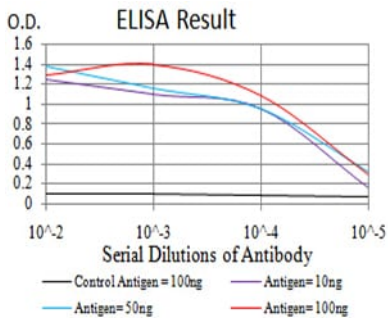
背景

この遺伝子は、細胞外マトリックスの成分およびシグナル伝達に関与する分子を切断できる亜鉛依存性酵素であるマトリックスメタロプロテアーゼ (MMP) 遺伝子ファミリーのメンバーです。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ゼラチナーゼ A、IV 型

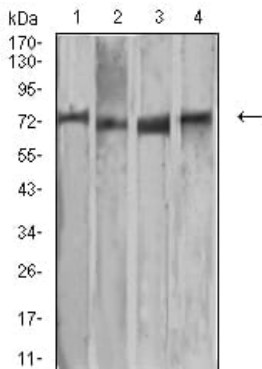
コラーゲナーゼであり、その触媒部位には3つのフィブロネクチンII型リピートが含まれており、変性したIV型およびV型コラーゲンとエラスチンの結合を可能にします。ほとんどのMMPファミリーメンバーとは異なり、このタンパク質の活性化は細胞膜上で起こります。この酵素は、細胞外でプロテアーゼによって活性化されるか、または細胞内でS-グルタチオン化によって活性化され、プロドメインのタンパク質分解による除去を必要とせずに活性化されます。このタンパク質は、神経系、子宮内膜月経の崩壊、血管新生の調節、転移など、複数の経路に関与していると考えられています。この遺伝子の変異は、ウィンチェスター症候群および結節性関節症骨溶解症 (NAO) 症候群と関連付けられています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。

研究分野

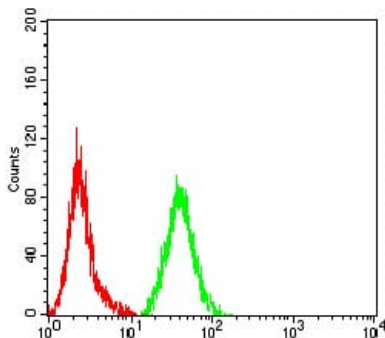
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



MCF-7 (1)、Raw264.7 (2)、HUVEC (3)、および T47D (4) 細胞溶解物に対する MMP2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



MMP2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。